

平和主義が日本の役割

安保3文書に書かれてい
るのは安全保障政策の大転
換です。「専守防衛」をか
ぐり捨てて高度な攻撃能力
を持つという、慄然とする
内容です。「たたかいた
い」という意思が前面に出
ています。「平和を愛する諸

同志社大学教授

浜 矩子^{さん}

国民の公正と信義」を信頼
して「安全と生存を保持し
よう」という日本国憲法の
精神と全然違う。そんな大
ごとをぼんと出して、国民
に何の相談もなく閣議決定
するというのは暴挙です。

3文書は大転換を正当化

す。だれかが軍拡合戦に歯
止めをかけなければいけま
せん。「それが日本の役割
なのだ」と高らかに宣言す
ればよい。多角的な協調に
基づく平和という方策を、
日本は執念深く力強く発信
すべきです。

するために、周辺環境の変
化を強調します。ロシア、

多くのメディアで財源の
話が先行して騒がれたのは
残念なことです。「軍拡は必

の不安につけこみ、「従来
のままではいけない」とい
う雰囲気をつくるうとして
います。だけど本当は、周
辺事情が危うくなればなる
ほど、「断じて日本は平和
主義を貫く」というべきで

要かもしれないけど増税や
国債発行はだめだ」という
議論は、問題を矮小化する
ものです。周辺国との緊張
を高める大軍拡こそが問題
なのだということを、声高
にいい続けましょう。

